

# 一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン Cambodia Mines-remove Campaign

## 2012年度 事業報告

— 2012年4月1日～2013年3月31日 —

### カンボジア事業

---

- 地雷・不発弾撤去後に建設した中学校での農業教育振興
  - ・Farmer Field School (FFS) の実施
- ツアーコーディネート
  - ・(社)佐世保青年会議所 CMCコーントライ夢中学校 訪問ツアー
  - ・千代田区地球市民ツアー
  - ・CMC冬休み地雷原視察ツアー
  - ・CMC第17次カンボジアスタディツアー
- 地雷原の村に建設した小学校・中学校の運営
  - ・CMCポップイ安倍小学校
  - ・CMCコーントライ夢中学校
  - ・CMCTウールポンローみおつくし中学校

### 国内事業

---

- |   |           |
|---|-----------|
| ■ 授業・講演   | ■ その他啓発活動 |
| ■ チャリティ事業 <ul style="list-style-type: none"><li>・書き損じハガキ回収プログラム</li><li>・チャリティ野球</li><li>・報告会</li></ul> | ■ メディア掲載  |
| ■ イベント出展  | ■ 受賞歴     |
|   | ■ 書籍      |

# カンボジア事業



## 地雷・不発弾撤去後に建設した中学校での農業教育振興 CMCTウールポンロー中学校にてFarmer Field School (FFS)

対象地域：カンボジア王国バンテアイ・ミエンチャイ州マライ郡トゥール・ポンローコミュニティ、トゥールポンロー村

期間：2012年7月～2012年9月にかけて全6回実施

助成：公益信託アドラ国際援助基金

プロジェクト対象者

CMCTウール・ポンロー中学校生徒、教師、トゥール・ポンローコミュニティ住民

プロジェクト概要：

地雷撤去完了後も未使用のままだった土地、約3.5ヘクタールを2012年3月に開墾して学校田とし、種籾を蒔き、7月から農業局の農業技術普及員を招いてFarmer Field School (FFS) を開始。(全6回)

Farmer Field School (FFS) とは農民参加型の実際の農場を学びの場とした農業技術の普及を目指す手法で国際援助機関、政府機関、NGOによって広く取り入れられている。本プロジェクトでは農業局技術普及員4人がファシリテーターとなって中学校生徒たちにFFSを行い、持続的な稲作技術の習得、普及を目指す。ほとんどの生徒たちが、現金収入はタイへの出稼ぎなどで賄う小規模農家の子どもたちである。小規模農家にとって、いかに手をかけずに収量を上げるかが重要な関心事。農業生産が及ぼす環境への影響を受けて成り立っている農業生態系を理解し、環境と調和した化学農業資材(化学肥料及び農薬)に頼らない有機農法を行うことによって、持続的な環境保全型農業が可能となる。将来この地域で農業の担い手となる生徒たちに、農業生態系に関心を持ってもらい、参加型アプローチで有機農業を実践してもらえるようFFSを行なった。教室で講義が行われ、校舎のまわりの田んぼがフィールド実習の場となる。教室での講義で得た知識を実際の田んぼで活かし、また田んぼを観察し分析した結果から技術の改善につなげる。

## Farmer Field School の様子



FFS講義の様子



有機肥料と自然農薬の作り方を実践



稲の生育状況を記録する



グループごとに観察結果をまとめる



堆肥づくり



イネ科と雑草の見分け方について講義



稲の生育、水の状況、雑草、虫などを観察



草丈を測る



観察結果を発表



米の生産コストを計算



これまでのおさらいテスト



Farmer Field School 閉講式



チャン・スレイニッチさん 15才 8年生

トレーニングで一番面白かったのは有機肥料の作り方です。でも自然防虫液の作り方は難しかったです。もっと勉強して、他の人にももっと教えてあげたいです。

### プロジェクトの今後の展望

十分な収穫が上がれば一部を販売へと回し、販売益を学校運営費に充てて持続的な運営に役立てるつもりだったが、まだカンボジア市場ではオーガニック米へのニーズが高くないのが現状で今後市場の動向をみながら販売を試みたい。生徒たちは家畜の飼育、野菜栽培、魚の養殖の技術向上にも関心があり、今後、テーマを広げたFFSの実施も検討したい。

# ツアーコーディネート

## 【実施ツアー】

### ● 2012.4.6～8 (社)佐世保青年会議所 CMCコーントライ夢中学校 訪問ツアー

CMCコーントライ夢中学校建設のドナーであり継続して支援を行なっている(社)佐世保青年会議所の皆さんが2012年4月7日に訪問され生徒たちと交流した。またコーントライ村に住む地雷生存者と面会した。



成績優秀者を表彰



地雷被害者エク・フンさんと面会

### ● 2012.9.12～16 (社)佐世保青年会議所 CMCコーントライ夢中学校 訪問ツアー

2008年に開校したCMCコーントライ夢中学校。4年目の今年、2期生が卒業した。学校建設のドナーであり継続してご支援いただいている佐世保青年会議所の曾和さんと坂本さんが9月14日に学校を訪問、卒業を祝った。今年卒業するのは15人。学校は10月からの新学期まで休暇中だがこの日卒業生10人を含む70人あまりが参加、在校生が見守る中、卒業生が卒業証書を受け取った。



曾和さんより卒業生全員に卒業証書が手渡された



今年度の卒業生

● 2012.12.18 千代田区主催 地球市民ツアー 参加者:17名(学生～一般)

千代田区主催の国際協力体験ツアーにて参加者のみなさんがCMCTウールポンロー中学校を訪問。生徒たちに日本から持ってきた文房具などを贈呈。日本の学生が「世界に1つだけの花」を披露。代わりにカンボジアの子供たちからも歌のプレゼントが。一緒に昼食を楽しみ、授業の様子なども見学。地雷被害者へのインタビューを通し平和の尊さを学んだ。



子供たちに文房具の贈呈



地雷被害者へのインタビュー

● 2012.12.25～29 CMC冬休みカンボジア地雷原視察ツアー 参加者:19名

CMC主催のカンボジア地雷原視察ツアー5日間。参加者は、福岡・関西から集った老若男女総勢19名。今回は特に教員や大学教授、町会議員など教育関係に携わる方が多く参加された。

訪問場所:トンレサップ湖、鬼一二三日本語学校、アキラ地雷博物館、CHSDの地雷原視察(オダーミエンチャイ州)、世界遺産アンコールワット遺跡群、義手義足センター、だるま孤児院



CSHDの地雷撤去現場を視察した



水上生活トンレサップ湖観光



孤児院では子供達と交流

● 2013.2.17～26 CMC 第17次カンボジアスタディツアー 参加者:14名

CMC主催の第17次カンボジアスタディツアー。参加者は、全国から集った総勢14名。

訪問場所:トンレサップ湖、鬼一三日本語学校、アキラ地雷博物館、CHSD地雷原視察、MAG地雷原視察、ICRC義足センター、第5軍病院、一ノ瀬泰造終焉の地、エマーゼンシーホスピタル、CMCポップイ安倍小学校、CMCトゥールポンローみおつくし中学校、CMCコートライ夢中学校、だるま孤児院、世界遺産アンコールワット遺跡群



地雷撤去団体MAGへのドネーション



第5軍病院へのドネーション



地雷撤去団体CSHDへのドネーション



日本の空手を披露



真剣に勉強に励んでいた



ポップイ小の子供たちが歌のプレゼント



だるま孤児院



義足リハビリセンター



トンレサップ湖



## 地雷原の村に建設した小学校・中学校の運営

現在、CMCポップイ安倍小学校(バタンバン州 2004年落成)、CMCコントライ夢中学校(バンテアイミエンチャイ州 2008年落成)、CMCTウールポンローみおつくし中学校(バンテアイミエンチャイ州 2010年落成)の3校を運営。

### CMCポップイ安倍小学校

生徒数150名 ( 男子68名 女子82名 )

CMCポップイ安倍小学校のある地雷原ポップイ村は、CMCが2009年から取り組んでいた農業支援プロジェクトの実施地でもあったので、定期的に学校訪問しながら教師と連携をとって学校運営を行ってきました。2012年2月のスタディツアーでは、CMCの役員で歯科医の平山氏による歯磨き指導を実施。日本から持ってきた歯ブラシを1人ずつ手渡し予防歯科の大切さを歯ブラシ指導の実践を通し訴えた。また、篠栗町立勢門小学校の子供達が田植えから稲刈り、お米の販売で得た資金でポップイ小学校の子供たちに、新しい制服をプレゼントした。



歯ブラシの指導



日本の子供たちからカンボジアの子供達に制服がおくられた

# CMCコートライ夢中学校

生徒数115名（男子65名 女子50名）

2012年9月に行われた2期生の卒業式には佐世保青年会議所メンバーが駆け付け卒業生へ卒業証書授与式を行う。今年卒業したのは15名。全員、高校進学が決定している。入学当初の27名は、12名が途中退学してしまい残ったのが15名だった。コートライ中学校は貧困世帯の生徒が多く、学校を辞めてしまう大きな理由は家庭の経済上の理由だ。

CMCは、今後子供達が安心して学校に通えるようにするため両親、子ども達への職業訓練・雇用創出などを視野に入れた活動の展開を予定している。



卒業証書の授与



入学当初の27名のうち卒業できたのは15名

# CMCトゥールポンローみおつくし中学校 (KODAMA SCHOOL)

生徒数166名（男子73名 女子93名）

校舎のまわり360度を地雷原に囲まれているCMCトゥールポンローみおつくし中学校では、今年度、学校裏の土地を田んぼとして利用できるよう開墾し、生徒たちが実践的に米の生産を学ぶFarmer Field School (FFS) プロジェクトを実施。農業局の農業技術普及員を招いての講習は全6回にわたり行われ、子どもたちは実際に稲の生育に有機肥料や堆肥など講習で習ったやり方を実践しオーガニック米を育てた。将来この地域で農業の担い手となる生徒たちが農業生態系を理解し、化学農業資材(化学肥料及び農薬)に頼らない環境と調和した有機農法を実践しゆく事を願う。



稲の成長を観察、記録する



Farmer Field School (FFS) 閉講式



# 国内事業 ～啓発活動～

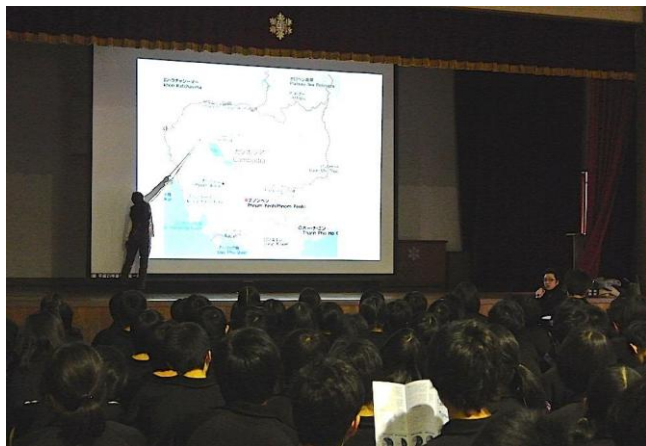
## 地雷問題を伝える

1人でも多くの人にカンボジアの現状を知ってほしい

CMCは、継続的に学校・団体での講演を行っています



粕屋町立粕屋西小学校にて地雷模型を使って説明する理事長大谷



## 2012年度授業・講演実績

- |                                |                                |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 2012.5 粕屋町立粕屋西小学校              | 2012.11 東京千代田区役所主催「地球市民講座2012」 |
| 2012.6 福岡市立箱崎清松中学校             | 大分県宇佐市立四日市南小学校                 |
| 薬院異業種交流会                       | 福岡県立修猷館高等学校                    |
| 2012.7 大阪市立梅南中学校               | 福岡市立宮竹中学校                      |
| 九州国際大学「国際協力実践論」                | 福岡市立壱岐中学校                      |
| 福津市立上西郷小学校                     | NGO福岡ネットワーク主催「国際キャリアデザイン研修」    |
| 篠栗町立勢門小学校                      | 2012.12 水巻町国際交流協会              |
| 2012.8 大阪市立三稜中学校               | 福岡市立西新小学校                      |
| 大分県宇佐市立宇佐中学校                   | 大分県宇佐市立駅川中学校                   |
| 起業大学「ソーシャルビジネス講義」              | 福島県白河市立白河第二中学校                 |
| (株)フラウ主催イングリッシュ&アドベンチャーサマーキャンプ | 2013.1 大阪府追手門学院高等学校            |
| 2012.9 福岡市宮竹公民館                | 2013.2 飯塚市庄内中学校                |
| 春日市社会福祉協議会                     | 2013.3 (社)佐世保青年会議所             |
| 大阪府立北千里高校                      | 東京練馬区立大泉学園中学校                  |
| 愛知県小牧市西部地区ボランティアのつどい           | 東北白河西ロータリークラブ                  |
| 2012.10 小郡市の人権啓発センター           | 久留米市立水分小学校                     |

# チャリティー事業

2012年度書き損じハガキ回収ドネーション先(一部抜粋)

## 書き損じハガキ回収プログラム



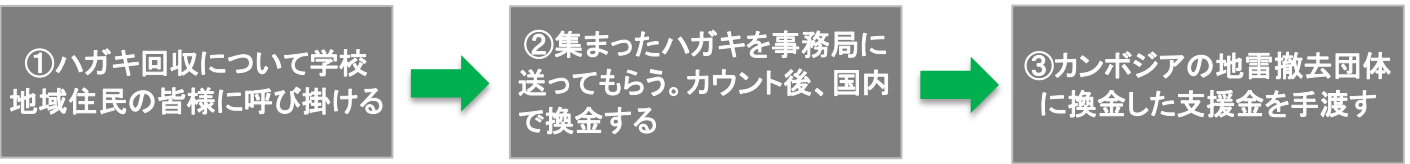
カンボジアの地雷撤去支援を目的としたハガキ回収プログラムで、ハガキ約3枚で1㎡の地雷原撤去費用になる



地雷撤去団体CSHD (Cambodian Self Help Demining)



地雷撤去団体MAG (Mines Advisory Group)



【ご協力頂いた支援者数】

学校・団体約 **715** 個人約 **619** 名 地域：福岡、佐賀、熊本、大分、長崎、宮崎、鹿児島

昨年度より始めた書き損じハガキ回収プログラム。今年度は呼び掛ける地域を福岡から九州各県へと拡大し、夏季・冬季キャンペーンに分けて実施。地方紙や新聞などにも取り上げて頂いた結果、学校・団体約715、個人619名の方がハガキなどの支援品回収にご協力下さいました。集まった支援金の総額は3,382,450円にも及びました。(去年の約3倍)支援金は、スタディツアーの際、地雷撤去団体「CSHD (Cambodian Self Help Demining)」および「MAG (Mines Advisory Group)」、HIV/エイズ患者が入院する「第5軍病院」、学校、義足リハビリセンターに手渡して届け、その他現地支援事業として地雷回避教育を目的とした「ラジオ番組の制作・放送事業」「CMCTウールポンロー中学校の通学路舗装事業」などに充てさせて頂きました。今後は、九州から全国へと広報地域をさらに拡大していく予定です。



## ソフトバンクホークスマーケティング(株)共同事業 地雷被害者救済チャリティ野球

毎年実施しているソフトバンクホークスマーケティング(株)との共同事業で通常4,300円のA指定席を2,500円で販売。500円がCMCIに寄付され地雷被害者救済に役立てられる

実施日：6月26日・27日・28日(ソフトバンク VS オリックス戦)  
9月11日・12日・13日(ソフトバンク VS 楽天戦)  
場所：ヤフードーム



## (財)カンボジア地雷撤去キャンペーン主催 カンボジアの光と影 ～スタディツアー報告会および経済講演会～

「カンボジアの光と影」と題するスタディツアー報告会とカンボジア経済講演会を実施。

実施日：7月8日(日)、19日(木)  
場所：福岡市人権啓発センター

# イベント参加 (2012年4月～2013年3月)



写真パネルや地雷模型を通して来場者に地雷の悲惨さを訴える。イベントの収益は地雷除去・被害者支援に。

## ●国際イベント

- 2012.5 唐津チャリティフェスティバル(佐賀県)
- 2012.6 写真展「カンボジアの光と影」場所:アクロス福岡
- 2012.9 福岡県主催 NPOと企業の協働面談会 & イキカツ事業交流会
- 2012.10 グローバルフェスタ2012(東京都)  
福岡県主催ふくおか共助づくりフェスタ  
福岡市主催ハートフルフェスタ2012

- 2012.10 よこはま国際フェスタ2012(神奈川県)  
いきいきフェスタ春日2012
- 2012.11 地球市民どんたく2012
- 2013.2 大阪ワンワールドフェスタ

## ●フリーマーケット

- 2012.5 西日本リサイクル運動市民の会主催 フリーマーケットTNC放送会館前
- 2012.6 西日本リサイクル運動市民の会主催 フリーマーケットTNC放送会館前  
(株)リトル・ママ主催 ツキチフリマ  
西日本リサイクル運動市民の会主催 フリーマーケットTNC放送会館前
- 2012.7 ドリーム・ストリーム主催 ドリーム・フリーマーケットハローディ周船寺
- 2012.8 博多せんしょうフリーマーケット&骨董市



## ●街頭募金活動

- 2012.7 福岡市天神三越前 募金額15,516円
- 2012.8 福岡市天神三越前 募金額12,838円
- 2012.12 福岡市天神三越前 募金額46,746円
- 2013.2 福岡市天神三越前 募金額43,890円



## その他、啓発活動

### ●物品貸出

- 2012.7 三重県鈴鹿市人権政策課主催「2012平和への祈り展」
- 2012.8 愛知県江南市生涯学習課主催「世界平和を願うパネル展」
- 2012.11 愛知県小牧市小牧西中学校文化祭
- 2013.1 板橋区立上板橋第二中学校



● インターンシップ受入れ

- 2012.6～2013.3 外務省NGOインターン育成プログラム 1名  
 2013.1～2 ACT留学生インターンシップカンボジア留学生 1名  
 2013.2～3 (社)福岡中小企業経営者協会 春季インターンシップ 3名



● 現地活動をご支援頂いている協賛企業・団体様



● 寄付つき商品などによりご支援頂いている店舗・企業



● メディア掲載 (2012.4～2013.3)

テレビ

- 2012.6 TNCテレビ西日本「スーパーニュース」  
 ご支援頂いている学習塾スタンダードの不用品回収への取り組みを紹介

新聞

- 2012.4 京都新聞「カンボジアの地雷撤去にー京都両洋高生 支援団体に募金」  
 2012.5 西日本新聞「不発弾被害防止に協力をー学習塾通し不用品提供に呼び掛け」  
 朝日新聞「カンボジアの地雷撤去 ゲーム・漫画で資金作り」  
 2012.6 読賣新聞「地雷撤去君の力で 不要な漫画、ゲーム提供を」  
 佐賀新聞「不要な本など提供呼び掛けー地雷撤去支援にー」  
 2012.7 西日本新聞「カンボジアの現状報告ー福岡市のNGO19日も講演会」  
 2012.8 読賣新聞「学習塾でカンボジア支援ー不用ゲーム、CD地雷撤去費に」  
 2013.1 朝日新聞「書き損じ年賀状地雷撤去を支援」  
 熊本日日新聞「カンボジア地雷撤去支援してー福岡市の団体がよびかけー」  
 公明新聞「カンボジア地雷原を歩いてー暗い歴史を乗り越え、前へ」  
 奄美新聞「書き損じハガキで支援ーカンボジア地雷撤去キャンペーン」  
 2012.2 西日本新聞「地雷撤去へ天神で募金 カンボジア支援団体」  
 西日本新聞「カンボジアの地雷撤去 書き損じハガキで支援」



ラジオ

- 2012.12 NHKラジオ第一放送「博多屋台こまっちゃん」大谷理事長出演  
 2013.3 KBC九州朝日放送ラジオ「PAO～N」大谷理事長出演



## ●受賞歴

---

2006年 3月 西日本国際財団『アジア貢献賞』受賞  
2006年12月 国連加盟50周年記念式典にて『日本国際連合協会会長賞』受賞  
2008年 9月 カンボジア政府より「国家建設功労第一等勲章」授与  
2008年11月 (財)社会貢献支援財団『社会貢献賞』受賞  
2008年11月 福岡市『福岡市市民国際貢献賞』受賞  
2008年12月 アジア人権基金『アジア人権賞』日本人として初受賞  
2010年12月 カンボジア政府より「国家建設功労第一等勲章」授与  
2012年 1月 公益財団法人かめのり財団「かめのり賞」授賞



## ●書籍

---

2011年 5月 「地雷原の子どもたちと共に」海鳥社 大谷 賢二 (著)



# 決算報告書

(第2期)

自 平成24年4月 1日

至 平成25年3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

貸借対照表

平成25年3月31日 現在

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位: 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	1,826,321	【流動負債】	
現金及び預金	1,826,321	未払金	237,100
【固定資産】	272,000	負債の部合計	237,100
【投資その他の資産】	272,000	純 資 産 の 部	
敷金	272,000	【資本】	
【繰延資産】	1,813,160	基本財産	5,000,000
創立費	1,813,160	当期未処分損失	1,325,619
		純資産の部合計	3,674,381
資産の部合計	3,911,481	負債及び純資産合計	3,911,481

損益計算書

自 平成24年4月 1日  
至 平成25年3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位: 円)

科 目	金 額	
<b>【売上高】</b>		
支援金	1,984,478	
募金	566,775	
事業収入	19,669,402	
売上高合計		22,220,655
<b>【売上原価】</b>		
当期仕入高	6,236,679	
研究調査費	798,763	
現地活動費	4,362,609	
売上原価		11,398,051
売上総利益		10,822,604
<b>【販売費及び一般管理費】</b>		
販売費及び一般管理費	12,299,431	12,299,431
営業損失額		1,476,827
<b>【営業外収益】</b>		
受取利息	217	
雑収入	0	
営業外収益合計		217
経常損失金額		1,476,610
税引前当期純損失金額		1,476,610
当期純損失金額		1,476,610



販売費及び一般管理費内訳書

自 平成24年4月 1日  
至 平成25年3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位: 円)

科 目	金 額	
給料手当	5,416,732	
雑給	444,502	
法定福利費	2,009,477	
福利厚生費	7,234	
外注費	270,000	
荷造運賃	42,930	
広告宣伝費	50,000	
接待交際費	155,541	
会議費	146,957	
旅費交通費	824,816	
通信費	281,573	
販売促進費	17,210	
消耗品費	128,017	
事務用品費	182,881	
修繕費	22,050	
水道光熱費	75,688	
新聞図書費	4,074	
諸会費	119,100	
支払手数料	787	
車輛費	124,377	
地代家賃	855,752	
リース料	673,073	
租税公課	129,990	
支払報酬	280,000	
雑費	36,670	
販売費及び一般管理費合計		12,299,431